



10/27

地元の伝統工芸を学ぶ 妻木小学校のふるさと学習

妻木小学校の5年生約50人が山犬窯（妻木町）を訪れ、地場産業である陶磁器産業について学びました。児童たちは、講師の伝統工芸士の指導の下、電動ろくろを使った茶碗づくりを体験。瞬く間に形を変えていく粘土に驚いたり、成形に苦戦したりしながら器を作り上げていました。また、粘土をたたara状に伸ばした表札づくりも行われ、子どもたちは夢中になって取り組んでいました。



10/28

災害対応に万全を図るために 高圧ガス施設で消防訓練

10月の高圧ガス保安活動促進週間に合わせた消防訓練が太陽日酸エネルギー（土岐津町）で行われ、事業所と消防が連携して訓練に当たりました。訓練は、地震による火災の発生を想定し、署員が駆け付けるまでの間、従業員が協力して消火活動や負傷者の救助を行いました。訓練後、同社の魚見健支社長は「役割分担をしっかりと行い、事故や被害拡大の防止に努めたい」と話しました。



10/22・23

Only One の器を探して 第36回美濃焼伝統工芸品まつり

美濃焼伝統工芸品まつりが3年ぶりに開催され、伝統工芸士が手掛けた一点物を求めに訪れた人たちにぎわいました。来場者は、美濃陶芸村の陶房を巡りながら好みの器を探したり、地域の窯元や若手作家による即売テントでお値打ち品を手に入れたりしました。また、伝統工芸品の展示や海産物などの物産展、野点茶会なども行われ、来場者を楽しませました。

▲ 陶芸村窯元巡り



▲ 伝統工芸品・窯元展示販売

▼ 市茶道連盟による
野点茶会

▲ 焼津市水産振興会による物産展

10/7

運動することの楽しさを アクティブ・チャイルド・プログラム

土岐津小学校で ACP（アクティブ・チャイルド・プログラム）を取り入れた体育の授業が行われました。子どもたちは、連続でジャンプしながらじゃんけんをしたり、先生の動きを真似したりして、全身を使った運動遊びを体験しました。授業を終えた子どもたちからは、「楽しかった、またやりたい」などの声が聞かれ、体を動かすことの楽しさを学びました。



10/8

ガラスのような美しい彩色を 七宝焼きブローチづくり体験

美濃陶磁歴史館で開催された企画展にちなんで七宝体験講座に市内外から12人が参加し、七宝のブローチを作りました。七宝焼きは金属の素地に釉薬を高温で焼成することでガラスのような美しい彩色を施す伝統工芸品で、参加者は細い筆を使って釉薬を重ね、それぞれのデザインを施しました。深い緑色と青色でブローチを作った女性は「楽しくて色を載せ過ぎた」とうれしそうでした。



10/13

音楽でみんなを笑顔に 第32回ブラスの集い

市内の中学校、高校の吹奏楽部が企画、運営する手作り演奏会「第32回ブラスの集い」が市文化プラザで開催されました。新型コロナや会場の改修工事などにより3年ぶりの開催となった今回、演奏を聴こうと多くの人々が来場しました。始めは真剣な表情で演奏をしていた生徒たちも、来場者からの手拍子が起こると、楽しそうな表情で演奏し、来場者を沸かせました。



10/20

「食」を通して人を元気に 第1回オリジナル給食料理コンクール

市内の全中学校を対象に、「食」に関する研究とその研究にまつわる料理を募集する「オリジナル給食料理コンクール」が開催され、泉中学校の澤田ゆりさん（前列中央）が最優秀賞に選ばれました。澤田さんは「鶏（鶏）を研究テーマに、「鶏ささみの醤油鶏ごま焼き」を考案。「一生懸命考えた料理なので、みんなにおいしく食べてほしい」と話しました。

